

草の根無償資金援助 「トビリシ市DV被害者保護シェルター整備計画」供与式

於：トビリシ市 / 2017年5月30日・6月15日

「トビリシ市DV被害者保護シェルター整備計画」供与式は、2017年5月30日に第1回目がジョージア大統領夫人及びポーランド大統領夫人、貝谷大使夫人、長谷川参事官他の出席の下、また、6月15日に第2回目が貝谷大使、ポーランド大使、エストニア大使、スペイン臨時代理大使他の出席の下で開催されました。いずれにも被供与団体「ジョージア反暴力ネットワーク」や、国際女性連盟等の関係者等が参加しました。

近年、ジョージアでは家庭内暴力の問題が深刻化しています。整備前のシェルターは10人しか収容できず、個室もなくプライバシーが守られない環境だったため、建物2階部分を日本が、1階部分をポーランドが整備し、エストニア、スペイン、NGO「Sigrid Rausing Trust」及び国際女性連盟も支援を行い、4ヶ国とNGOによる協調案件となりました。本計画により、年間約120名のDV被害者の女性と子供を安全な環境で保護することができます。日本国政府による支援額は、82,526米ドルです。



ジョージア大統領夫人の挨拶(左はポーランド大統領夫人)



貝谷大使による挨拶



貝谷大使夫人への感謝状の贈呈



プレイルーム

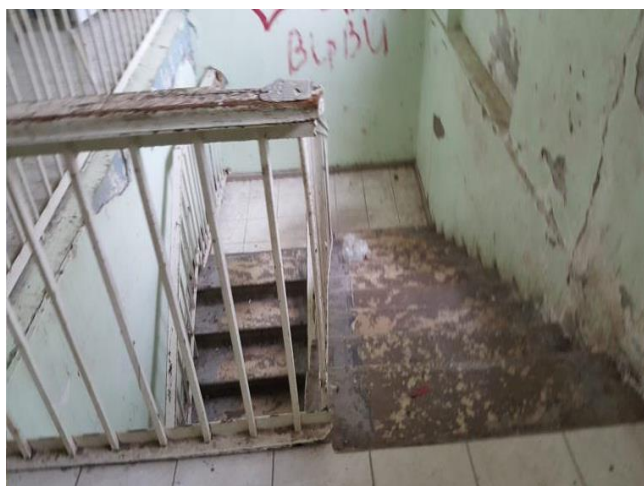


個室

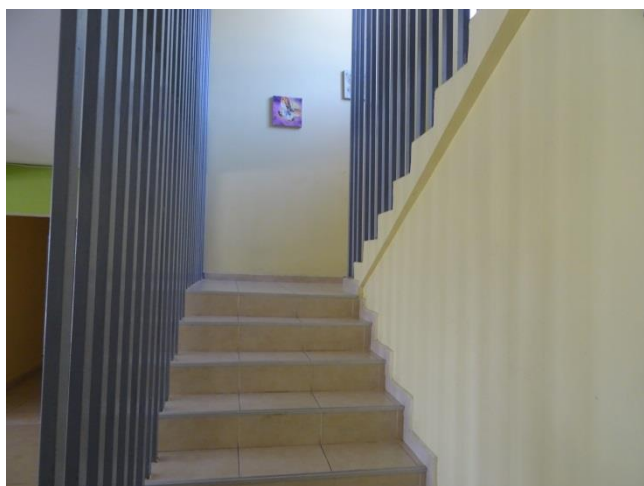


整備された建物

改修前



改修後



「トビリシ市DV被害者保護シェルター整備計画」
改修前と後の様子

